



“たいせつ”がギュッと。

阪神電車
HANSHIN ELECTRIC RAILWAY

阪神電気鉄道株式会社
HANSHIN ELECTRIC RAILWAY CO.,LTD.

〒553-8553

大阪市福島区海老江1丁目1番24号

<http://www.hanshin.co.jp/>

NEWS RELEASE

経営企画室(広報担当)

報道関係各位

2014年6月4日

「登下校 ミマモルメ」の新展開 認定こども園・保育園・幼稚園向け登降園管理システム 「登降園 ミマモルメ」の営業を開始

阪神電気鉄道株式会社（本社：大阪市福島区、社長：藤原崇起）では、2011年からサービスを開始している阪神あんしんサービス「登下校 ミマモルメ」の技術を活用し、ICタグを用いた、認定こども園・保育園・幼稚園向けの登降園時間管理システム「登降園 ミマモルメ」の営業を今月から本格的に開始します。

「登降園 ミマモルメ」は、園児の鞆等に入れたICタグの通過情報を門で読み取ることにより、園児の出欠管理や、延長保育時間の集計、請求書の発行等を自動で行うシステムです。延長保育時間の集計等は、保護者からの申告や、園の職員の確認に基づいて行っているところが多く、保護者と園の間で延長時間の認識に差がある場合もあり、時間計算の手間が園の負担になっていましたが、当システムの導入により、自動で登園・降園の記録が残るため、公平な延長保育の時間管理、園の事務作業負担の軽減を図ることが可能です（詳細は別紙参照）。

当社では、京都府内の保育園からの要望を受け、2014年3月に当システムを提供していましたが、同様のニーズが多くあると判断したことから、この度、沿線内外での本格的な営業を展開する運びとなったものです。

当システムの基となっている「登下校 ミマモルメ」は、全国の13都府県で、小学校を中心に406校、約97,000人（2014年3月31日時点）の方にご利用いただいております。児童の登下校についての安心感をお届けするサービスとして、全国的に広がりを見せているほか、学校だけでなく分譲マンションへの導入も決定しており、今後も、積極的に全国展開・他分野への応用を図ってまいります。

「登降園 ミマモルメ」の概要は別紙資料のとおりです。

以上

<資料提供先> 青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ

この件に関する報道機関からのお問合せは、

阪神電気鉄道株式会社 経営企画室（広報担当） 担当：飯塚

TEL：06-6457-2130

までお願いします。

【「登降園 ミマモルメ」の概要】

1 名 称 「登降園 ミマモルメ IC タグ登降園管理システム」

2 内 容

門への機器設置、システムの導入により、園児の鞆等に入れたICタグの門通過情報を自動で読み取って、出欠管理や延長保育の時間管理等を自動で行います。

3 システム概要



4 特徴

- ①自動読み取り方式のICタグを用いているため、カード式のようなタッチが不要
- ②門・玄関を通過しただけで、登降園時間が自動登録されるため、正確な時間管理が可能
- ③自動集計で延長保育管理が可能で、時間帯別の料金設定もできるため、保護者への請求書発行や自治体への各種申請が自動化され、園の管理者負担が軽減可能

5 システム導入費用

工事費見積もりのうえ、個別にご相談させていただきます。

6 導入についてのお問合せ先

阪神電気鉄道株式会社 新規事業推進室 あんしん事業担当

TEL : 06-6457-2071 (平日 8:45-12:00 13:00-17:30 ※年末年始除く。)

E-mail : mimamorume-info@hanshin-anshin.jp

Web サイト <http://hanshin-anshin.jp/>